ITパスポート試験対策動画。今回のテーマは、2024年10月以降から適用されるシラバスバージョン6.3から追加される新用語の解説です。

ストラテジ系

イラストを見ながらお聞きください。。。

MVV。。。

ミッション、ビジョン、バリューの頭文字をとった言葉です。経営学者のピーター、F、ドラッカー氏によって提唱され、現在では多くの企業でこの考え方を取り入れられています。

ミッションは、企業の果たすべき社会的役割、存在意義、ビジョンは、企業のミッションが実現したときの理想的な状態、バリューは、大切にする価値観や行動指針を意味します。

人的資本経営。。。

人材を資本として捉え、その価値を最大限に引き出すことにより、中長期的な企業価値の向上につなげる経営の在り方を指す言葉です。

イラストにあります通り、従来の人的資源経営は、人財に対する資金をコストとして捉え、

今すでにあるものを消費、管理する経営手法です。。

一方人的資本経営は、人財に対する資金を投資の対象として捉え、環境や教育を通じて価値を増やすという手法となります。。。

人的資本経営とは、人を大事に育てて企業価値を高めるという手法ということになります。

えすでぃーじーずっぽいですね

パーパス経営。。。

パーパスとは、目的や意志を表す単語です。パーパス経営とは、企業が何のために存在し、どのような価値創造を社会で実現するのか、ビジネス活動をおこなう上で根本となるこころざしや信念を指針として実践する企業経営のことです。パーパスは、ドリーム、夢、ビリーフ、信念からなっています。。

MVVが企業を主体としている一方で、パーパス経営は社会を主体とする考え方や価値観を持ちます。

イラストを見ながらお聞きください。。。

カーボンフットプリント。。。

商品やサービスの原材料調達から廃棄、リサイクルに至る過程を通して排出される温室効果ガスの排出量をしーおーつー、二酸化炭素に換算し、商品やサービスにわかりやすく表示する仕組みのことです。事業者に対してはサプライチェーン全体における温室効果ガス削減が、消費者に対しては低炭素なライフスタイルの実現が期待されています。

リスキリング。。。

新しい職業に就くために、あるいは、今の職業で必要とされるスキルの大幅な変化に適応するために、必要なスキルを獲得する、させることです。近年では、特にDX化のための新たなスキルの習得や、仕事の進め方が大幅に変わるであろう職業につくためのスキル習得を指すことが増えています。

MBO。マネジメントバイオブジェクティブスアンドセルフコントロール。。

オブジェクティブス、共通の目標とセルフコントロール、自律的な貢献によってマネジメント、組織を使って成果をあげる、するマネジメント哲学のことです。

オブジェクティブスで掲げる目標は、誰が見ても理解できる客観性をもつ内容であるかが重要であり、セルフコントロールでは、目標達成へ向けて自律的に取り組む姿勢が重要となります。

DEあんどあい。ダイバーシティ、エクイティあんどインクルージョン。。。

ダイバーシティ、多様性。エクイティ、公平性。インクルージョン、包括性のみっつをあわせた言葉です。従来のDあんどあいの考え方にエクイティ、公平性を加えたもので、Dあんどあいから一歩進んだ概念として近年広がりつつあります。DEあんどあいは、企業理念や教育理念などに多様性、公平性、包括性を取り入れて公平な機会のもと、多様な人材が互いに尊重しあい、力を発揮できる環境を実現するという概念です。

コンティンジェンシー理論。。。

コンティンジェンシーは、偶発や偶然を意味する言葉で、コンティンジェンシー理論とは、どのような状況でも最高のパフォーマンスを発揮するリーダーシップは存在しない、という考え方を指します。環境の変化に応じて組織の管理方針を適切に変化させることが、リーダーには求められるとして、近年注目されています。

シェアードリーダーシップ。。。

メンバー全員がリーダーシップをシェア、発揮するものです。チーム共通の目的、責任意識を持ち、メンバーそれぞれのスキルや強みが発揮できる領域で積極的にチームをリードすることにより、チーム全体のパフォーマンスを高めることができます。ひとりのリーダーに情報、判断、権限が集中する伝統的なリーダーシップとは異なる概念です。

サーバントリーダーシップ。。。

サーバントとは、使用人、召使い、奉仕者という意味を持ちます。リーダーが部下に積極的に関わり、意見に耳を傾けます。そのうえで組織の進むべき方向を指し示し、奉仕することで人を導くものです。立場を振りかざして指示や命令をするのではなく、信頼関係を重視し、部下の声に耳を傾けながら目標やビジョンを達成していく手法です。

ワーケーション。。。

ワーク、仕事とバケーション、休暇を組み合わせた造語です。テレワークなどを活用し、普段の職場や自宅とは異なる場所で仕事をしつつ、自分の時間も過ごすことです。余暇主体と仕事主体のふたつのパターンがあります。

超スマート社会。。。

必要なもの、サービスを、必要な人に、必要な時に、必要なだけ提供し、社会の様々なニーズにきめ細やかに対応でき、あらゆる人が質の高いサービスを受けられ、年齢、性別、地域、言語といった様々な制約を乗り越え、活き活きと快適に暮らすことのできる社会のことです。

グリーントランスフォーメーション。ジーエックス。。。

化石エネルギー中心の産業、社会構造を、クリーンエネルギー中心の構造に転換していく、経済社会システム全体の改革への取り組みを指します。

カーボンニュートラル。。。

炭素中立という意味です。温室効果ガス排出量をできるだけ削減し、削減できなかった温室効果ガスを吸収または除去することで実質ゼロにすることです。

適格請求書等保存方式。インボイス制度。。。

複数税率に対応した消費税の仕入税額控除の方式のことです。一定の要件を満たした適格請求書。インボイスを売り手が買い手に発行し、双方が適格請求書を保存することで、消費税の仕入税額控除が適用されます。

忘れられる権利。消去権。。。

適切な期間を経た後に、記録にとどめられるべき正当な条件を持たない過去の個人にまつわる情報がWeb上に残っている場合、これを削除すること、検索結果によって表示されないことを求める個人の権利のひとつとして提唱したもの。

労働施策総合推進法。パワハラ防止法。。。

正式名称は、労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等に関する法律。企業、事業主は、職場内におけるパワーハラスメント防止のために、雇用管理上必要な措置を講じることが義務となり、適切な措置を講じていない場合には是正指導の対象となります。パワハラ防止法にいうパワハラとは、職場において行われる。1。優越的な関係を背景とした言動であって。2。業務上必要かつ相当な範囲を超えたものにより。3。労働者の就業環境が害されるものであり、1から3までのみっつの要素をすべて満たすものをいいます。

サブロク協定。。。

法定労働時間を超えて時間外労働や休日労働を行う場合に労使間で結ぶ協定のことです。正式名称は、時間外、休日労働に関する協定届であり、労働基準法36条にもとづく労使協定であるためサブロク協定と呼ばれています。サブロク協定を締結せずに法定労働時間以上、法定休日に労働をさせるのは違法となります。1日の労働時間が8時間を超える、または週の労働時間が40時間を超える場合、会社は届出が必要となります。

景品表示法。。。

正式名称は不当景品類及び不当表示防止法です。不当表示、不当景品から消費者の利益を保護する法律です。令和5年10月ついたちから広告であるにもかかわらず、広告であることを隠すことがいわゆるステルスマーケティングが景品表示法上の不当表示に指定されました。

廃棄物処理法。。。

正式名称は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律です。廃棄物の処理、保管、運搬、処分などに関するルールを定めた法律です。特に産業廃棄物については、その取り扱いについて厳格なルールが定められています。

リサイクル法。。。

資源、廃棄物などの分別回収、再資源化、再利用について定めた法律です。日本では、対象の種類ごとに、いくつかの法律に分かれています。

1。容器包装リサイクル法。。。

2。家電リサイクル法。。。

3。小型家電リサイクル法。。。

4。建設リサイクル法。。。

5。食品リサイクル法。。。

6。自動車リサイクル法。。。

7。パソコンリサイクル法

GX。グリーントランスフォーメーション推進法。。。

2050年の温暖化ガス排出の実質ゼロの実現に向け、政府の脱炭素戦略を盛り込んだ法律です。正式名称は、脱炭素成長型経済構造への円滑な移行の推進に関する法律です。

デジュレスタンダード。。。

デジュレとは、法律上の、道理上のといった意味です。でじゅレスタンダードは、標準化団体などの公的機関によって規定された公的規格の総称です。日本のジス規格や米国のあんしー規格、欧州のいーえぬ規格などが該当し、国際的にはあいえすおー、国際標準化機構やIEC、国際電気標準会議、ITU、国際電気通信連合などが定めた規格が該当します。

エコシステム。。。

エコシステムという言葉は、本来生態系の関係性をあらわします。ビジネスやIT業界においては、同じ分野の企業の製品同士が連携する。あるいは異業種の企業が、それぞれの技術やノウハウを共有しながら、収益を上げる構造のことをいいます。

CX。カスタマーエクスペリエンス。。。

日本語では、顧客体験、顧客体験価値と訳されます。商品やサービスの機能、品質、量、価格といった合理的な価値だけでなく、商品またはサービスにかかわるさまざまな体験を価値として顧客に提供することを重要視するマーケティングや経営戦略の考え方です。

カスタマージャーニーマップ。。。

顧客が商品やサービスを購入、利用するまでの道のりであるカスタマージャーニーを、地図上の旅のように可視化することです。ターゲットがサービス利用に至るまでの一連のプロセスを言語化し、見える状態にすることによって、見込み顧客の心理状態を把握し、適切なタイミングかつ適切な方法でコミュニケーションを図ることが可能となります。

ロケーションベースマーケティング。LBM。。。

スマートフォンのようなデジタルデバイスによる位置情報を活用し、消費者に対して最適なマーケティングを展開する手法のことです。企業は位置情報を取得して、消費者がどこにいて、何を求めているのか、というリアルな情報を手に入れることができます。

グロウモデル。。。

質問を通して相手を目標達成へ導いていくビジネスコーチングの手法です。

目標達成に必要なよっつのプロセスが含まれており、それぞれの頭文字をとってグロウと表します。。。

1。G、ゴール、目標設定。。。

2。R、リアリティ、リソース、現状把握。。。

3。O、オプションズ、選択肢の創出。。。

4。W、ウィル、意思確認

KPIツリー。。。

KGI、最終目標を達成するために必要なKPI、各要素を、樹形図の形にして可視化したものです。KGI達成のための要素を洗い出す際や、具体的な施策のアイデアを出す際に使用されます。

すまーと。。。

適切で明確な目標を立てるために欠かせないいつつの要素を含んだ目標設定のためのフレームワークのことです。それぞれの頭文字をとってすまーととあわらします。。。

1。S、スペシフィック、具体的に。。。

2。M、メジャーラブル、測定可能な。。。

3。A、アーチバブル、達成可能な。。。

4。R、リレーテッド、経営目標に関連した。。。

5。T、タイムバウンド、時間の制約がある

せきモデル。。。

従業員の知識や技能のなかから暗黙知を組織的に管理し、必要に応じて形式知化するための理論のことです。共同化、ソーシャライゼーション、表出化、エクスターナライゼーション、結合化、コンビネーション、内面化、インターナライゼーションのよっつのプロセスを繰り返し行い、新たな知識や技術を生み出します。

ぽーぶ。プルーフオブバリュー。。。

価値実証という意味です。システムを導入する際に、本当にそのシステムを導入する価値があるかどうかを検証することを指します。ぽっくとの違いは、実際にシステムを導入、運用して検証するかいなかという点です。ぽっくは試験的に簡易版を作成して導入を実施しますが、ぽーぶは簡易版さえも本当に導入が必要かどうかから検討するという点が異なります。

OMO。オンラインマージズウィズオフライン。。。

オンラインとオフラインの販売チャネルを活用しやすくすることで、顧客満足度を高めるマーケティング方法のことです。例えば、オンラインで商品を購入したあとに実店舗で受け取ったり、実店舗で商品を試着したあとにオンラインで購入を完了したりできます。これにより、顧客は自分に合った商品をリアルに見たり試したりできる一方で、オンラインでの手続きをスムーズに進めることができます。

NFT。ノンファンギブルトークン。非代替性トークン。。。

偽造不可な鑑定書、所有証明書付きのデジタルデータのことです。コピーが容易なデジタルデータに対し、ブロックチェーン技術を活用することで、唯一無二な資産的価値を付与し、新たな売買市場を生み出します。

中央銀行発行デジタル通貨。セントラルバンクディジタルカレンシー。CBDC。。。

中央銀行が発行するデジタル通貨のことで、1。デジタル化されていること、2。円などの法定通貨建てであること、3。中央銀行の債務として発行されること、のみっつの条件を満たすものと定義されています。

VRゴーグル。。。

仮想現実。バーチャルリアリティを体験することができるレンズが付いているゴーグルのことです。数万円もする本格的なものから、スマホをはめ込んで使う簡易的なものまでさまざまな種類があります。仮想現実とも訳され、VRには、表面的には現実ではないが、本質的には現実という意味が含まれています。

スマートシティ。。。

デジタル技術を活用して、都市インフラ、施設や運営業務等を最適化し、企業や生活者の利便性、快適性の向上を目指す都市のことです。世界各国では、中央政府や地方自治体だけでなく、がーふぁ。ぐーぐる、あまぞん、フェイスブック、あっぷるやアリババなどIT系プラットフォーマーなどもスマートシティに取り組んでいます。

パブリッククラウド。。。

他のユーザーとクラウド環境を共有して使用するクラウドサービスを指します。

パブリッククラウドは専用のサーバおよびインターネット回線を調達する必要がなく、手軽に導入できる。一方、クラウド事業者が提供するサービスやその環境に依存しているため、障害などの予期せぬトラブルが発生した場合には自社で対処できず、クラウド事業者からの復旧連絡を待つことになります。また、セキュリティーポリシーへの対応もしづらい状況になります。

プライベートクラウド。。

ユーザーがクラウド環境を専有して使用するクラウドサービスを指します。

自社専用のクラウド環境を構築できるので、カスタマイズ性の高さを重視する企業に向いています。プライベートクラウドは環境を専有できることから、自社が望むセキュアな環境を構築できます。一方、パブリッククラウドと比較して導入までに時間がかかったり、運用コストも高くなりがちであったりします。

ハイブリッドクラウド。。

パブリッククラウドとプライベートクラウド、オンプレミス、物理サーバなど異なるタイプのサーバやサービスを組み合わせ、相互接続を行い、一つのシステムとして運用する形態のことです。

マルチクラウド。。

複数のパブリッククラウドを目的に応じて使い分ける運用形態のことです。

クラウド間の相互接続が不要で、独立して運用します。

マネジメント系

ユーザーストーリー。。

アジャイル開発で活用されているフレームワークの一つで、ユーザーが思い描く理想のユーザー体験を端的に言語化したものです。人として、何をしたい。それは、なぜだからだ。という形で表現することで、ユーザーの要求とプロダクトの価値を正しく結びつけることができます。

ふりかえり。レトロスペクティブ。。

アジャイル開発におけるふりかえりのことです。スプリントで、何がうまくいったのか？。何がうまくいかなかったのか？。を振り返ることで、チームが継続的に改善できるようになることを目的としています。

継続的インテグレーション。CI。コンティニュアスインテグレーション。。

エンジニアがコードを反映させるまでのビルドやテストを自動化することです。バグを早期に発見して修正することで、品質を向上させることができます。

プロダクトバックログ。。

開発が必要な機能や改善が必要なものに優先順位をつけたリストのことを指し、特にアジャイル開発においてとぅーどぅーリストのような役割を果たします。プロダクトオーナーがコントロールし、製品の完成まで変化し続けることが重要とされています。

スプリントバックログ。。

チームがプロジェクトのスプリント期間中に完成を目指す作業アイテムのリストのことを指します。開発者により優先順位付けされており、開発者は優先順位の高いものから順に対応していきます。開発者が取り組むべき課題や実現方法を明確にすることができます。

SLI。サービスレベルインディケーター。。

サービスレベル指標とも呼ばれます。サービスのパフォーマンスを具体的に測定するための基準で、応答時間、エラーレート、システムの稼働時間など、顧客が直接体感するサービス品質の側面が含まれます。「99.9%の稼働時間」というのが例として挙げられます。

SLO。サービスレベルオブジェクティブ。。

サービスレベル目標とも呼ばれます。サービスレベルの目標・評価基準を定めた指標のことです。一般的に公開する義務はないため、SLOは顧客との契約ではなく、自社内で設定されるサービス品質の目標となります。サービスの可用性は99.9パーセント以上である必要がある。というのが例として挙げられます。

えーあいおぷす。。

IT運用のためのAIのことです。ITに関する一般的な問題の特定と解決の自動化や、運用効率を向上させるために、機械学習や生成AIなどの人工知能を利用することを指します。

文字コード。。

文字を通信やコンピュータで扱えるように、一文字一文字に固有の識別番号を与えて区別できるようにした、その対応関係についての規則のことです。。

代表的な文字コードは以下の通りです。。

ユニコード。世界の主要な言語で使われている文字を取り扱うための規格です。。

じすこーど。じす。日本産業規格などが規格した文字コードです。。

あすきー。アメリカ規格協会。ANSIが規格した文字コードです。。

しふとじすこーど。えすじす。あすきーのコード体系の文字と混在させて使えるようになっている日本語文字コードです。マイクロソフト社などが規格した文字コードです。

GPGPU。ジェネラルパーパスコンピューティングオングラフィックスプロセッシングゆにっつ。

GPU。グラフィックスプロセッシングゆにっとによる汎用計算という意味です。画像処理を高速に実行するGPUの機能を、画像や映像に関する処理以外の計算用途に流用する仕組みのことです。えぬびでぃあが有名ですね。

DDRふぁいぶえすでぃーらむ。。

半導体集積回路で構成されるディーラムの規格の一種です。前世代のDDRふぉーえすでぃーらむと比較して、DDRふぁいぶは消費電力を削減しつつ帯域幅がにばいになっています。

GPL。GNU、ジェネラルパブリックライセンス。。

ソフトウェアの利用許諾条件などを定めたライセンスのひとつです。主にフリーソフトウェアの開発、配布のために用いられるものです。フリーソフトウェア財団。FSF。フリーソフトウェアファンデーションが公開しています。

コピーレフト。。

著作権に対する考え方で、著作権を保持したまま、二次的著作物も含めて、すべての者が著作物を利用、再配布、改変できなければならないというものです。ソフトウェアやその他の作品が共有の財産として維持され、誰でも自由に使用、編集、再配布できる環境を促進することが目的とされています。

らっちの法則。。

リチャードソールワーマンによって提唱された、情報を分類・整理するためのいつつの法則のこと。このいつつには、ロケーション、場所、アルファベット、タイム、時間、かてごりー、ヒエラルキー、階層が含まれます。

レスポンシブルWebデザイン。。

デバイスの画面サイズに依存しないWebサイトを構築する手法のことです。

ユーザーの利便性向上などが図れますが、表示速度が低下するというデメリットも存在します。

リダイレクト。。

指定したウェブページから自動的に他のウェブページに転送されることです。

URLリダイレクトとも呼ばれます。通常はウェブページのURLが変わったときに、元のURLから新しいURLへ誘導するときに用いられます。

複合現実。MR。ミックスドリアリティー。。

現実世界と仮想世界を合成させて相互に影響し合う空間を作り出す技術やツールのことです。カメラやセンサーを活用することで、現実世界に投影された仮想世界のオブジェクトをあらゆる角度から見たり、触れて操作したりすることができます。

メタバース。。

インターネット上の仮想空間のことです。さん次元で構成された仮想空間の中で、自分自身の分身であるアバターを介して自由に動き回り、他者と交流し、商品やサービスの売買など様々なことを体験できます。

二重脅迫。ダブルエクストーション。。

通常のランサムウェアは被害者のデータを暗号化して、復号化ツールと引き換えに支払いを要求しますが、二重恐喝は、被害者のデータを暗号化し身代金の支払いも要求しますが、さらに被害者のデータを暗号化前にコピーしておき、そのデータをオンラインで公開しないようにするための支払いも要求します。

クレデンシャルスタッフィング攻撃。。

盗まれたアカウント資格情報でWebアプリケーションなどのサービスに大規模な自動ログイン要求をおこなうことで、ユーザアカウントへの不正アクセスを試みる攻撃の一種です。アカウント資格情報は通常、ユーザ名や電子メールアドレスと対応するパスワードリストで構成されます。クレデンシャル、認証情報を使いスタッフィング、総当たり的に検証することからクレデンシャルスタッフィング攻撃と呼ばれます。クレデンシャルスタッフィング攻撃はロボットが行い、パスワードリスト攻撃は手動で行うのが異なる点です。

バッファオーバーフロー攻撃。。

ウェブアプリケーションを含む、あらゆるプログラムは、指示された処理を行うためにメモリ上に自身が使用する領域を確保します。プログラムが入力されたデータを適切に扱わない場合、プログラムが確保したメモリの領域を超えて領域外のメモリを上書きされ、意図しないコードを実行してしまう可能性があります。このような問題をバッファオーバーフローの脆弱性と呼び、この問題を悪用した攻撃をバッファオーバーフロー攻撃と呼びます。

オープンリレー。第三者中継。。

メール送信サーバ、SMTPサーバが、外部からの送信依頼を受け付けることです。特に、何の制限も無く誰でも自由にメールを送信できるよう開放している状態となります。迷惑メールやウイルスメールの送信に悪用されるため好ましくないとされています。

APT

フットプリンティング。。

サイバー攻撃を行う前の下調べのことです。サイバー攻撃のターゲットする対象のバージョン情報やディレクトリ構造、使用しているソフトウェア、脆弱性の有無、その他、検索エンジンや公開されているデータベースを利用した調査を行ったりします。

リスクコミュニケーション。。

リスクに関する情報を関係者と共有し、理解を深めるための手法のことです。リスクコミュニケーションを適切に行うことで、組織全体でのリスク認識の共有や、効果的な対策の実施が可能となります。

いすまっぷ。政府情報システムのためのセキュリティ評価制度。。

政府が求めるセキュリティ要求を満たしているクラウドサービスを予め評価、登録することにより、政府のクラウドサービス調達におけるセキュリティ水準の確保を図り、もってクラウドサービスの円滑な導入に資することを目的とした制度のことです。

EDR。エンドポイント。エンドポイントディテクションアンドレスポンス。。

エンドポイント。PC、サーバー、スマートフォン、タブレットなどネットワークに接続されている端末の操作や動作の監視を行い、サイバー攻撃を検知し次第対処するソフトウェアの総称です。

3、2、1ルール。。

組織がデータをバックアップする際に推奨されているルールです。常にみっつのデータコピーを作成し、それらをふたつの異なる媒体に保管し、ひとつは別の場所に保管するという方法のことです。ランサムウェア攻撃の増加に伴い、組織のデータ復旧が喫緊の課題となっており、3-2-1ルールなどの実践が求められています。

わーむ。らいとわんすりーどめにー。。

一度書き込んだデータを消去、変更できない追記型の記憶方式のことです。操作ミスや故意によるデータの改ざん、削除を防ぐことができるため、コンプライアンス対応やセキュリティの強化に有効です。

イミューダブルバックアップ。。

データを変更不可能にして削除や暗号化、変更を防ぎ、バックアップデータを保護する方法のことです。いみゅーだぶるは、変更不可能なという意味です。

EMVすりーでぃーセキュア。すりーでぃーセキュア2.0。。

カード利用者の決済情報などを基に、カード会社が高リスクと判断する取引にのみワンタイムパスワードなどの追加認証を実施するサービスのことです。クレジットカード情報の盗用による「なりすまし」などの不正利用を未然に防止することができます。

トラストアンカー。信頼の基点。。

HTTPS通信における、OSやブラウザベンダが提供するソフトウェアに登録されている認証局が発行したルート証明書を指します。インターネット上のやり取りは、通常不特定多数の相手と行います。その中でトラストアンカーと認証局は、顔の見えないインターネットの通信に、何かしらの信頼を与える機能を実現します。